

あゆみ学園だより

2023年1月号

福岡市社会福祉事業団
福岡市立あゆみ学園

2023年、あけましておめでとうございます。年末年始、ご家族やご親戚の方と久しぶりに楽しい時間を過ごされたのではないのでしょうか。親しい人と過ごす時間は、心をほぐしエネルギーを与えてくれる気がします。職員間のことですが、先月から週に1回朝礼で「日常でクスッと笑った話、大笑いした話」等を共有するようにしました。確認や注意事項などの真剣な雰囲気の中、家族の事や自身の行動で思わず笑ってしまった話を聞いて、肩の力が抜けるのがわかります。そして、一日の始まりに前向きなエネルギーを貰っています。その雰囲気そのままに、園の中に広がっていけばよいなと思っています。

「みんなで笑う」。子どもたちにとっても、笑顔になれること、心を引き寄せられる楽しいことがたくさんある1年にしたいと思います。今年もどうぞよろしく願いいたします。

副園長 松元美智子

行事予定



6	金	単独通園開始
10	火	親子通園開始
20	金	視覚チェック
24	火	避難訓練
27	金	月例保護者会 グループ懇談（りす・ぞう）



生後6カ月～4歳も新型コロナワクチンの接種対象に

新型コロナワクチンの第8波が到来していますが、日本で確認された感染者の累計は約2,500万人、亡くなられた方は約5万人です。これとは別に、住民の抗体検査で、日本全体では約1/4が、沖縄県では約半数が、福岡県では約3割の住民が既に感染を受けています。子どもの症例が増えるにしたがって脳症などの重症になる子や熱性けいれんを起こした子の数も増えています。基礎疾患のある子は要注意です。市の要請で職員は1月末まで最大週3回の抗原検査を行いながら療育にあたります。

一方、オミクロン株4/5に対するワクチンが出てきました。また6カ月～4歳児の幼児にワクチン（3回接種）が始まりました。ワクチンに含まれるmRNAの量は成人用のワクチンに比べて、**幼児用が1/10量、5歳～11歳の小児用は1/3量**です。小児用ワクチンの日本での副反応の論文では、発熱率は1回目2.7%、2回目11.6%で成人に比べて低い頻度でした。

医学的に承認された抗原検査キット（新型コロナやインフルエンザ）を薬局に置いて自己検査を導入したり、国産の内服薬が認可されたり、2類疾病から5類疾病（インフルエンザ並）への移行が検討されてます。ワクチン接種の予防接種法上の扱いも「特例臨時接種」から変わっていくでしょう。2シーズン流行しなかったインフルエンザにも気を付けながら新型コロナ4年目のこの冬を乗り切りましょう。
(小児科医：宮崎千明)

